

2019

みやづ

No.139

社協
ボランティアだより

宮津市社会福祉協議会の財政が危ない！

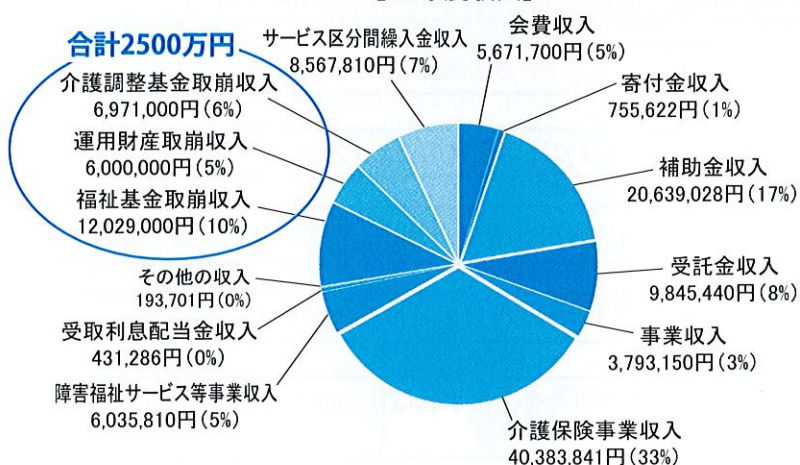
～5年間で積立金、約6800万円の取崩し～

(宮津市社協に係る財政健全化に向けた取組み)

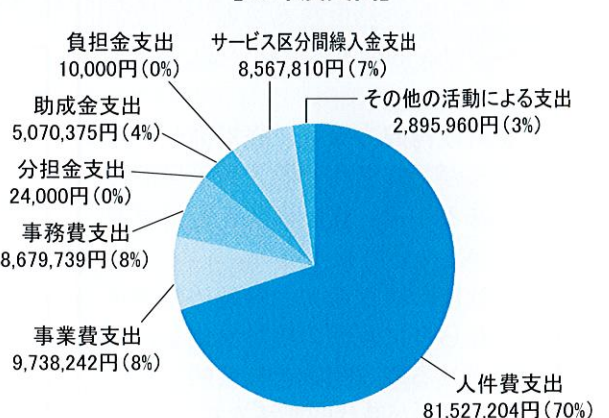
1. 現状と課題について
2. 財政健全化検討委員会
3. 今後の取組み方針について

<平成30年度 宮津市社会福祉協議会決算報告>

【30年度収入】



【30年度支出】



1. 現状と課題について

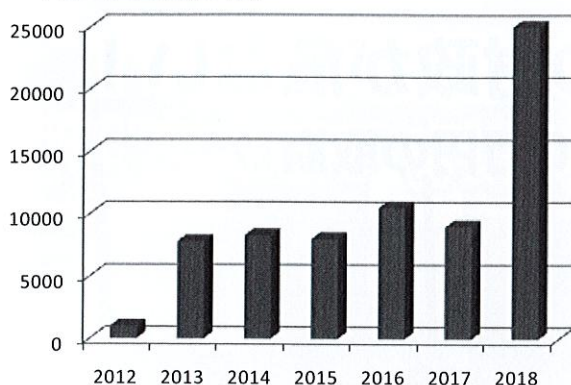
人口減少・超高齢化時代に突入し、宮津市社会福祉協議会の収支は、収入において社協会費や行政の補助金等が伸び悩む一方、支出において人件費や事業費が増加し、支出が収入を上回ることが、近年常態化しています。

宮津市社会福祉協議会では、宮津市の財政問題が深刻化した平成 25 年度以降、財政収支バランスが崩れ、収支不足（赤字補てん）を積立金の取崩しによって賄ってきました。

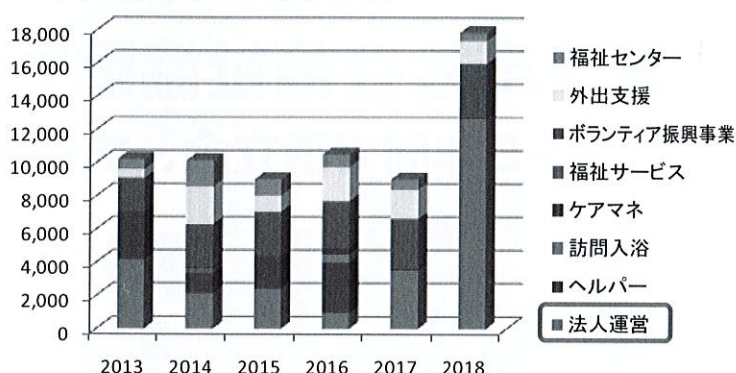
平成 25 年度以降の取崩し額の累計は、6,850 万円となりました。

このまま対策を取らずに推移し、毎年 1,000 万円程度の積立金を取崩していくと、あと数年で積立金が無くなることから財務を安定化させることが急務となっています。

（積立金取崩し額）



（事業経理区分ごとの赤字額）



（単位：千円）

年度	25	26	27	28	29	30(※)	積立金残
取崩し額	7,800	8,280	8,000	10,500	9,000	25,000	50,900

（※）30年度の25,000千円は、宮津市地域ささえあいセンター移転に伴う移転・工事費8,000千円が含まれています。

宮津市社協の課題認識

1. 非営利の社協のこれまでの運営は、善意と公共財の配分事業が中心で経営よりも円滑で民主的な運営に重点が置かれてきた。
2. 市町村社協は、行政の福祉施策の推進機関であり、全社協や全国的な福祉運動に呼応して運営されてきた。主体性を持ち独自の政策や運動を展開する体制が弱い実態。
3. 財政再建方策は、経営健全化であるが、非営利で収入対策に限界がある中で、支出抑制と配分見直しが求められる。

社協の経営能力と管理体制の強化ならびに互酬の福祉文化を常態化させる取り組みと社会的合意形成の運動が時代的要請である。

宮津市の行政改革の影響を受け、社協運営は積立金取崩しを前提に運営されてきた。

非営利組織であり、補助金削減を転嫁できる財源はなく必然的に赤字となる構造。

中長期の経営計画・財政計画がなく、社協経営の戦略性が不足

法人運営の経営企画力が不足、人的体制不備

自主財源がない。収益事業拡大・生産性向上

財務管理が複雑であることから関係者へ情報共有の不足

行政依存で主体的に運営できる組織体制にない。相互依存の隘路

ステークホルダーが曖昧で社協運営のチェック機能が不十分

役職員含めて社協関係者の経営管理意識。情報共有化できていない

社協の情報公開化が不十分、市民の社協の理解協力度が不足

法の求める公益的取り組みを強化すればするほど現状のままでは、財政が赤字

2. 財政健全化検討委員会

(設置・目的)

宮津市社協の財政健全化ならびに経営安定化方策の検討

(検討委員)

小長谷敦子 (委員長 会計士)	東修一郎 (中部民生児童委員常務)
藤本繁光 (税理士)	河原末彦 (宮津市議会産業建設福祉委員長)
岩田光雄 (宮津市自治連会長)	山口孝幸 (副委員長 宮津商工会議所専務理事)
橋本俊次 (宮津市老人クラブ連合会長)	
青木眞久 (北星会理事)	オブザーバー
笠井裕代 (宮津市健康福祉部長)	菊本隆博 (京都府社会福祉協議会総務課長)

(今後のスケジュール)

平成31年2月28日 第1回 財政健全化検討委員会

令和元年6月27日 第2回 財政健全化検討委員会 (課題等の整理、今後の方針)

8月 第3回 財政健全化検討委員会 (中間まとめ(案)の策定)

9月 パブリックコメント実施

10月 第4回 財政健全化検討委員会 (計画(案)の策定)

11月 第5回 財政健全化検討委員会 (計画の策定)

令和2年度から計画を実施
(既に今年度からできることは実施)

3. 今後の取組方針について

1) 赤字構造の要因分析

宮津市社協の収支構造は時代とともに変化し、過去には寄付金や補助金が多い中で、事業拡大と福祉サービスの向上を図ってきました。平成25年ごろまでは収支が安定し、介護保険の収益等で積立金も増えてましたが市の財政改革や在宅介護の需要の減少など介護保険をめぐる環境の変化や制度改正等もあり社協の経営が急速に悪化してきました。

社協は非営利の民間組織であり、収入の財源は市からの補助金、社協会費や募金、寄付金であり、支出は時代対応の新たな取り組みも増えて法人運営の人件費が膨らむ中で、収入不足を積立金取崩しで賄う構造になっています。この構造を改革しなければ積立金が底をつくのは目に見えています。改革は待ったなしの状況です。

2) 健全化の長期的な視点

宮津市社協は、長期的視点に立って、地域住民とともにどのような地域づくりを目指すのか、地域福祉のあり方を再度検討し、時代に対応して自分たちの背丈に応じた自助・共助・公助の役割分担を再構築していくことが求められています。

ランドデザインとしては、新たな互酬の福祉文化の創造が求められています。

3) 財政再建・経営の安定化にむけた取組みの方針

役職員の報酬や諸経費の削減等既にできることから経費削減等に努めているところですが、次回の検討委員会では以下の内容について具体方針を策定します。

- ① 社協運営の改革 → 経営の合理化、経費削減、社協会費の改定、補助金の見直し
- ② 社協のスタンス → 住民主体の取組みの推進
- ③ 事業の見直し等 → 新規事業の立上げ、既存事業の見直し、各団体等への助成金や補助金の見直し

今後も引続き情報発信を行いながら、情報提供に努めてまいります。(次回10月掲載)

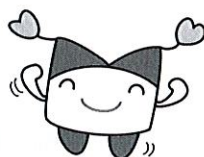
今後とも、宮津市社会福祉協議会のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年度 宮津市社会福祉協議会事業報告

全国的に社会福祉に対する取組みが目まぐるしく、高齢者対策や介護保険制度改正により事業の緩和が進むなかで、地域の支えあい活動への期待が高まっています。本市においては、人口一万八千人を割り、高齢化率は四十一%超となっています。

今後ますます人口減や高齢化が進むなかで、高齢者や障がいのある方などに対する見守りや支援、また生活困窮など経済的な課題を抱えている世帯もあり、複雑多岐にわたる相談が増えています。

平成三十年度の宮津市社会福祉協議会は、「ささえあい助けあいの心をはぐくみ豊かで明るい地域社会をめざそう」を基本目標に取り組みを進めてきました。



地域福祉活動の推進

宮津市の十四地区すべてに設置している住民主体の社協地区支会組織を中心に「ふれあいサロン活動」や「給食サービス事業」、「地域福祉懇談会」、「敬老会への助成」などの支援を行いました。

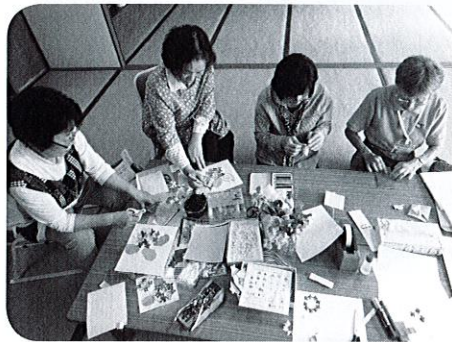
全地区で開催いただいた地域福祉懇談会では、地域での支えあい

活動がますます求められるなかで、地域の現状や課題など参加者間で見解を交わしていただきました。



地域福祉懇談会

また今年度の新規事業として、宮津市福祉センターを会場に地域の方が気軽に交流ができる居場所づくり事業「みんな、おいでなあ」を立上げ、協力者が主体となった六メニユーを通じた取組みを開始しました。



みんな、おいでなあ

ボランティア活動の推進

平成三十年七月豪雨災害により、宮津市の各地区が被害を受けたことに伴い、宮津市旧保健センターにおいて「宮津市災害ボランティアセンター」を立上げ、被災された世帯へボランティアを派遣し復旧支援を行いました。



宮津市災害ボランティアセンター

その他にも、近年災害発生が多いことから防災等への関心をもっていたため、市民向けに「防災フェスタ&ちよこつとふくし」を開催、また宮津市青年会議所と「災害時における協力に関する協定」の締結を行うなど取組みを進めてきました。

在宅サービス事業の強化

「暮らしのかけ橋事業」「外出支援サービス事業」などの福祉サービスを実施しました。



相談業務の充実

多様な相談が寄せられる中で、既存制度で対応できるものは制度で対応しつつ、家族や地域・関係機関等との連携を図りました。

なかでも、福祉サービス利用援助事業では、認知症の方を中心に相談や契約が増えており、今後も引き続き連携が必要不可欠です。

在宅福祉事業の拡充

介護事業所として「訪問介護事業」や「訪問入浴介護事業」及び「居宅介護支援事業」の充実に努め、また、障害者総合支援法に基づく障がいの方への「指定居宅介護サービス」や「同行援護サービス」、「在宅重度障害者訪問入浴サービス」を実施してきました。

介護保険法改正に伴い、訪問介護事業では要支援一と二、チェックリスト該当者の方に対し、第一号訪問事業（訪問介護相当サービス・訪問型サービスA）でサービス提供を行ってきました。



社会福祉協議会体制の強化・その他の事業等

財政運営が厳しい中、会計士や税理士の方など委員十名で構成する「財政健全化検討委員会」を設置し、今後の財政の健全化や組織運営の在り方などについて、検討してきました。その他にも職場内の体制強化として、全職員を対象とした研修会を継続実施しスキルアップ等の向上に努めました。

また、昭和四十八年から宮津市社会福祉協議会の事務所や地域の方々の会場としてお世話になった宮津市福祉センターが老朽化のため、平成三十一年三月三十一日をもって閉館となり、現在の場所に移転しました。

こうした活動や事業を進めるにあたり、行政や民児協、自治連をはじめ各種福祉団体、ボランティア、事業所や企業の皆様のご理解とご協力をいただいております。そのため、地域福祉を支える組織基盤の充実、

住民参加による福祉サービスの推進などについて地域に根ざした福祉活動を進めていく必要があります。

社会福祉協議



宮津市地域ささえあいセンター

会が実施する地域福祉活動には、市民の皆様からの会費や善意による寄付金品等を主な財源として事業を実施しているところです。

社会福祉協議会へのご理解とご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

社協会費のお願い

「みんなでささえあう

安心・安全の地域づくり」

を目指して！

宮津市地域ささえあいセンターを拠点とし、宮津市社協ではさまざまな活動を展開します。その活動の財源を確保するために、今年度も市民のみなさまには社協会費のご協力をお願いいたします。

市民のみなさまにささえられながら、笑顔が見える明るいみやづを目指し「みやつびー」と共に職員一同がんばりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

普通会費：一世帯八〇〇円

市民のみなさまから

賛助会費：一五〇〇円以上

個人さまから

特別会費：三〇〇〇円以上

個人・事業所さまから

施設会費：福祉施設さまから

団体会費：福祉団体さまから

令和元年度宮津市社会福祉協議会 役員・評議員

役員（理事10名・監事2名）

（順不同・敬称略）

会 長	細 見 節 夫	副 会 長	村 岡 千 鶴	副 会 長	岩 田 光 雄（新）
理 事	東 美 佐 子	理 事	橋 本 俊 次	理 事	黒 岡 芳 子
理 事	青 木 眞 久	理 事	木 崎 重 弘	理 事	笠 井 裕 代
理 事	片 尾 百 孝（新）	監 事	枝 宇 太 郎	監 事	羽 淵 徹

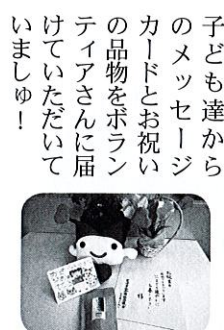
評 議 員（34名）

東 修 一 郎	高 岡 良 一	位 田 清	宇都宮 綾（新）	智 原 芳 明
金 村 栄 子	今 井 清 幸	稲 岡 義 一（新）	森 島 博 親（新）	河 原 末 彦（新）
田 中 恵 子	前 野 明 男	粉 川 宗 久（新）	石 田 弘 司	大 西 敦 子
岩 田 護	品 川 洋 子	藤 本 長 壽（新）	桐 村 圭 子（新）	荒 川 俊 宏
宮 本 哲 雄	荻 野 雅 章	平 田 常 雄（新）	永 濱 敏 之	秋 山 し ず か（新）
小 田 原 道 子	井 上 巧（新）	小 谷 典 夫	中 道 浩（新）	山 口 孝 幸
福 本 義 昭	河 原 浩 志（新）	矢 野 良 一（新）	木 佐 一 春 美（新）	

みやづピーニュース

今回は、ひとり暮らし高齢者の見守りを目的に実施している「お誕生日訪問事業」で毎月お届けする封筒の宛名を書いてくださっているボランティアさんのご紹介でしゅー！

※「お誕生日訪問事業」では：七十歳以上のお一人暮らしの方のお誕生日に地域の子ども達からのメッセージカードとお祝いの品物をボランティアさんに届けていただいていますしゅー！



堀江知史さん

(宮津市在住・八十一歳)

Q ボランティアではじめられたきっかけは？

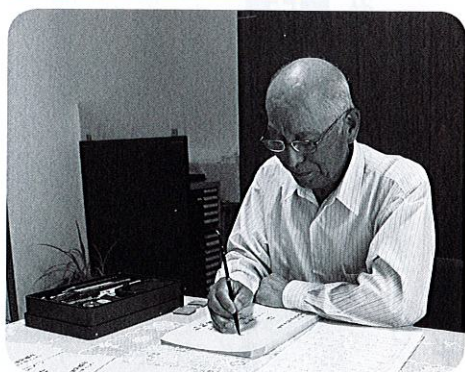
最初は妻がしていました。私も油絵や日本画を描いていることもあり、筆を持つことは好きでしたので、いつの間にか私が書くようになりました。

Q どのような思いで？

なるべく相手が嫌な思いをされないように、字を崩さないことを心がけています。自己流ですので専門の方が見ればおかしい所があるかとは思いますが、受け取られた方に喜んでいただけたら書いた甲斐があります。

爽やかな合唱曲をBGMになめらかに筆を動かされる堀江さん。時折墨を磨りながら、机に向かわれる堀江さんのお宅には、ゆったりとした時間が流れていましたしゅー！

趣味や特技がボランティアになるってステキでしゅね!!



堀江知史

ご自分の名前を書いていただきましたしゅー！

宮津市ボランティア連絡協議会
総会(第2部)

講演 「災害への備え」

自分の命を守るために

講師 防災士 三宅孝幸氏

宮津市ボランティア連絡協議会の総会が六月四日(火)に宮津市地域ささえあいセンターにて開催されました。

事業報告や予算などの審議の後、第二部では、元宮津市危機管理監として活躍され、引退後の現在でも防災士として自身が経験されたノウハウを生かし、地域防災意識の啓発、防災力の向上に努めておられる三宅孝幸氏を講師に迎え、お話を聞きました。

講演を聞かれた方は、「大変分かりやすいお話で良かったです。東日本大震災の被災の規模を宮津市に置き換えて話され、いかに被害が大きかったかというのを改めて感じました。」と感想を述べられていました。

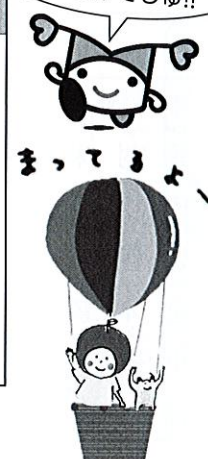


〈みんなの居場所〉みんな、おいでえなあ スケジュール

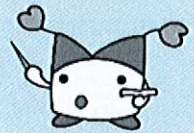
日	月	火	水	木	金	土
					第1金曜日 パソコンで遊ぼう 10:00~11:00	
					第2金曜日 ラインダンス 10:30~11:30	
					第4金曜日 ちょこボラの日 10:00~11:30	
	第1月曜日 クラシック ギター教室 9:30~10:30	毎週 ぶらぶら体操 9:50~10:30 (☆出張可能)	第3水曜日 ひきこもり お悩み座談会 10:00~11:30	毎週 手作り お茶の間サークル 9:30~12:00 (☆出張 要相談)		

※祝祭日はお休みです。※講師の都合等により、時間に変更になる場合があります。
☆出張の希望があれば、気軽にご相談ください。

秋にはお楽しみ企画を
計画中でしゅ!!



おしえて！みやっぴー！！ 今回は**社協ヘルパーの仕事**を紹介でしゅ！



社協には現在13名のヘルパーが活動しています。毎日元気いっぱい利用者様のお宅を訪問しています。

💡ご存知ですか？ヘルパーの仕事～その①～

◎身体に直接関わる支援（入浴介助・おむつ交換・食事介助等の支援）

☆利用者様の将来的なことも考え、自立支援、重度化防止のために共に行うサービス提供となっています。

◎家事援助（掃除・洗濯・調理等の支援）

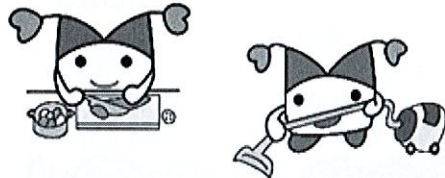
💡ご存知ですか？ヘルパーの仕事～その②～

◎障害福祉サービス

- ・同行援護…目の不自由な方の外出支援
（代筆・代読等の書類の支援、買い物、病院受診、ガイドヘルパーによる外出時の支援）
- ・居宅介護
- ・重度訪問介護



ヘルパーには初任者研修修了者（2級ヘルパー）、介護福祉士の資格が必要です。社協で働きながら経験年数を積み、介護福祉士の資格を取得した職員もいます！みなさまも意欲を持って取り組めるヘルパーの仕事を一緒にしませんか？お気軽にお問い合わせください。



連絡先：宮津市社会福祉協議会 ☎ 22-2090（代）担当 坂根まで



海釣りボランティア募集！！

京都新聞社会福祉事業団等主催で9月7、8日に開催される「障害のある方の海釣り体験」でお手伝いをしていただける方を募集しています。ぜひ、一緒に楽しみながらご協力ください。



令和元年9月8日（日）

午前7時30分～午後2時頃まで（朝・昼弁当用意しています）

会 場 海洋高等学校

人 数 5名（先着順）

内 容 餌付け、魚はずし、お弁当やお茶配りなど

申込締切り 令和元年8月19日（月）

申 込 先 宮津市社会福祉協議会 地域課 ☎ 22-2090

眠っている アクリル毛糸 譲ってください！

<みんなの居場所>
みんな、おいでえなあ
毎月第4金曜日
（10時～11時30分）
「ちょこぼらの日」



新聞ゴミ袋やアクリル毛糸でエコたわしをワイワイお喋りしながら作り、施設で活用してもらうボランティアを実施中です。お宅で不要なアクリル毛糸がありましたら、宮津市社会福祉協議会までお持ち下さい。

参加者も募集中！！お気軽にご参加ください。



仕事や生活の不安、悩みはありませんか？『くらしの相談窓口』を開設しています

宮津市から委託を受け、経済的に困窮されている方をはじめ、生活に不安や悩みのある方の自立を支援する「宮津市生活困窮者自立相談支援事業」に取り組んでいます。不安や悩みなどの相談に対し、相談支援員が関係機関と連携し、一緒に解決に向けて取り組んでいきますので、ご相談ください。

仕事のこと

- ・長く働いていないから就職が不安
- ・仕事がなかなか見つからない
- ・病気やケガで働けない



お金のこと

- ・公共料金などの滞納や、借金がある
- ・生活費がない、家計管理が困難 など



生活のこと

- ・家族のことで悩んでいる
- ・家族が引きこもっている
- ・今後の生活が不安 など



その他のこと

- ・心に関する相談
- ・福祉サービス制度を知りたい など

【連絡先】

宮津市社会福祉協議会
くらしの相談窓口
☎ 22-2090



善意のご寄付 ありがとうございました。

(平成31年4月から令和元年6月)

松原寺様	13,718円
匿名(1件)	3,312円
車イス	1台



本紙の作成には、共同募金
配分金を一部使っています。

★お父さん・お母さんのコメント

姉弟仲良くここに元気に大きくな
ってね！ いつも家族を笑顔にしてく
れてありがとう。



吉岡 朔玖 くん
平成30年11月25日生

0歳の笑顔

『100歳の言葉』

第30回目

中西 静子さん

(宮津市 在住)

100歳

(大正8年生れ)



『みんなが大事にしてくれて
もったいない』

かかりつけのお医者さまに「100歳までは保障する！」と太鼓判をもらっておられたほど、病気知らずの静子さん。「過去の様々な困難も丈夫ならこそ乗り越えてこられた。しっかりとした性格で弱音を吐く姿は一度も見たことがない」とご家族の方が話してくださいました。

「ありがたい」「もったいない」と手を合わせながら何度も感謝の言葉を口にされていた静子さんの優しい表情がとても印象的でした。

静子さん、いつまでもお元気で！

Q ご結婚は？
十八歳です。主人は八つか九つ年上でした。子どもは男の子ばかり四人です。主人は六十歳を迎える前に稲刈りの途中で突然倒れ、亡くなりました。

Q お仕事は？
百姓一本でした。三、四年前まで畑で花や野菜を作っていました。若い頃はみかんもたくさん作っていました。みかん畑が高台にあったので急斜面でしたが、収穫したみかんは私が耕運機を運転して運びました。

Q 若い頃の思い出は？
数人のグループで妙見さんを拝む妙見講をして一緒にご飯を食べたり、年に一度は旅行に行ったりしたことが良い思い出です。

Q 習い事は？
家の人に勧められてご詠歌を習っています。

した。私が暮らしていた地域では、知り合いに不幸があった時に、ご詠歌を一生懸命称えて見送りました。大会にも何度か出場しました。

Q 好きな食べ物？
何でも好きですが、握り寿司とお肉が好物です。

Q 今幸せですか？
私の顔を見ているいろいろな人が訪ねてくれてありがとうございます。みんなが親切にしてくれてもったいないことです。



ご詠歌の大会にて 畑の手入れをされる静子さん

社協・ボランティアだよりみやづ 第139号 令和元年7月発行

宮津市社会福祉協議会 〒626-0041 宮津市字鶴賀2109番地の2 宮津市地域ささえあいセンター内

☎0772-22-2090 Fax0772-25-2414

URL <http://www.kyoshakyo.or.jp/miyazu/> メール miyazu294@io.ocn.ne.jp